

## ニュース

### 関係学会の開催

#### 第22回国際昆虫学会議および第8回国際ミツバチ研究協会熱帯養蜂会議

国際昆虫学会は2004年8月15日～21日にオーストラリアのブリスベンで開催される。4年毎に開催され、3000人以上の昆虫学関係者が参加する大きな会議で、社会性昆虫のシンポジウムでミツバチ関連の学術発表が行われる。詳細は下記公式サイトで。

<http://www.ccm.com.au/icoe/>

国際ミツバチ研究協会主催で隔年開催される熱帯養蜂会議は2004年9月6日～10日にブラジルのレベラオ・プレートで開催される。プロポリスに関するシンポジウムの開催も予定されている。詳細は下記公式サイトで。

<http://www.rge.fmrp.usp.br/abelhudo>

<http://www.ibra.org.uk>

### スズメバチがスクリーンに登場 映画「解夏」の製作に協力

さだまさし氏原作の小説「解夏」(幻冬舎)の映画化に当研究施設が協力した。小野助教授が指導・協力したシーンは、多数のコガタスズメバチが巣門から噴き出してくる場面で、撮影は製作担当プロダクションの(株)アルタミラピクチャーズにより、9月2日に玉川大学構内で行われた。先日都内で催された試写会には、脚本・監督の磯村一路氏、さだまさし氏、主演女優の石田ゆり子さんらの面々も来られ、大変感動的な仕上がりに満足されるとともに、スクリーン一杯に溢れ出たスズメバチのシーンでは、その迫力に圧倒されていた。2004年1月17日(土)より全国東宝洋画系にてロードショー。一般当日1800円のところ全国共通特別前売券1300円にて発売中。



### 海外からの来訪者

11月1日に都内で開催された第7回アピセラピー学術講演会(プロポリス研究者協会主催)の講演者(左から、プロポリスの成分分析分野では第一人者である、ブルガリア国立有機化学・植物化学研究所のVassya Bankova博士、同僚で富山県立大学に留学中のDaniela Batovska博士、ブラジル産プロポリスの植物起源の研究者のEsther Bastos博士)が同3日に来訪。



12月12日、ポール・サバティエ大学(フランス)動物認知科学研究センター長のMatrin Guirfa教授が来訪。ミツバチの脳研究分野の第一人者で、単純学習より高次な、「同じであること」という概念をミツバチが認識できることを証明した画期的な研究が有名。当学では脳科学研究施設、大学院農学研究科と当施設の共催でこの話題を中心としたセミナーを開催した。



**編集後記** 本号では1980年から12年続いた「蜜源植物シリーズ(全45種)」を集成して再録した。多種のハチミツが出回るようになり、蜜源植物への関心を高めるのにもよい時期であろう。巻頭にもあるように、ここに含まれていないもの、新たに注目されてきたもの、あるいは海外から入ってくるものなど、さらに多種類の蜜源を加えて、読者に利用しやすいデータベースを今後とも構築していきたい。松浦教授の連載は3回目。たくましいニホンミツバチに感嘆するとともに、ミツバチの暗部にも十分な知識を持っているべきと考えさせられる。左に紹介した映画「解夏」はスズメバチが登場する異色のドラマ、ぜひご覧を。(純)